

## 【お知らせ】

### ◆エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞について

2014年総合大会（2014年3月18日～21日、新潟市、新潟大学）において、第14回エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞の審査を行います。本賞はエレクトロニクス分野における優秀な発表（一般講演、シンポジウム講演）を行った学生に対して贈呈するものです。概要は以下の通りとなっております。

\* 選定対象者：次の全ての条件を満たす方。

- (1) 講演時に電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティの学生員であること。
- (2) 講演申込の際に筆頭者かつ講演者として登録し、かつ実際に講演を行った者。
- (3) 過去に電子情報通信学会の学術奨励賞、及び本賞を受けたことがないこと。
- (4) 表彰時に電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティの会員であること。

該当者は自動的に本賞の選定対象者として登録されますので、申込み手続きは不要です。

\* 表彰：2014年ソサイエティ大会のエレクトロニクスソサイエティのプレナリーセッションにおいて、下記3分野それぞれについて2名の方に表彰および賞金（30,000円）を贈呈します。

- イ. 電磁波およびマイクロ波
- ロ. 化合物半導体および光エレクトロニクス
- ハ. シリコンおよびエレクトロニクス一般

### ◆2014年フェロー候補者推薦公募について

電子情報通信学会では、本会規則第2条第5項により、「学問・技術または関連する事業に関して顕著な貢献が認められ、本会への貢献が大きい正員に対し、フェローの称号の証を贈呈」しています。エレクトロニクスソサイエティでは、皆様方からご推薦いただいた方の中からフェローピアレビュー委員会と執行委員会でフェロー候補者を選定し、学会本部のフェローノミネーション委員会に推薦します。つきましては、エレクトロニクス分野でフェローの称号にふさわしい方のご推薦をお願い致します。

#### 【推薦手順】

フェロー推薦手順の詳細、推薦規程、書式については、電子情報通信学会の下記WEBページに掲載されています。

<http://www.ieice.org/jpn/fellow/suisen.html>

フェロー候補者の推薦は、「原則、累計在籍年数10年以上の正員・名誉員と海外セクション代表者で少なくとも1名による他薦」によると定められています。また、3名以上の評価者（名誉員及びフェロー会員）の評価シートのご提出も必要です。

- ・推薦書、評価シートは、2014年1月31日までに（当日消印有効）、
- ・推薦者、各評価者から別々に郵送にて下記までご提出ください。

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

（社）電子情報通信学会 エレクトロニクスソサイエティ・フェローピアレビュー委員会

### ◆シニア会員の申請について

シニア会員の申請が10月1日から開始になります。詳細は、電子情報通信学会の下記WEBページにも掲載されています。

<http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html>

- ・申請期間：2013年10月1日～2014年1月31日
- ・申請資格：本会会員として原則在籍累計5年以上で、本会が関連する技術分野に原則10年以上従事している正員。
- ・申請方法：シニア会員申請ページからの自己申告です。

## ◆特集号論文募集 (Call for Paper)

### ーマイクロ波・ミリ波技術の最前線小特集 (英文論文誌C) 論文募集ー

マイクロ波・ミリ波技術の最前線小特集編集委員会

マイクロ波・ミリ波技術は、モバイル通信サービスの更なる高度化、多様化やグローバル化を支える重要な役割を果たしています。また、医療応用、センシング、計測、電力伝送などの非通信領域においても、マイクロ波・ミリ波技術は目覚ましい広がりを見せています。更に、シミュレータに代表されるシミュレーション技術の開発及びその適用により、マイクロ波・ミリ波技術の応用を効果的に検証する試みがなされています。これらの最新の研究内容を網羅的に取り扱うことでマイクロ波・ミリ波技術の更なる進展に寄与することを目的として、本小特集 (平成 26 年 10 月号) を企画しました。奮って御投稿下さるようお願い致します。

#### ●論文投稿締切日 平成 26 年 2 月 14 日 (金) 必着

#### ●問合せ先幹事

加屋野 博幸  
(株) 東芝 研究開発センター 機能材料ラボラトリー  
〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町 1  
Tel: 044-549-2110, Fax: 044-520-1286  
E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

#### ●詳細は学会誌 11 月号をご覧ください。

### ー電子ディスプレイ小特集 (英文論文誌C) 論文募集ー

電子ディスプレイ小特集編集委員会

情報ネットワーク技術が次世代の基幹産業になると予測されており、それを実現するヒューマンインタフェースとして、電子ディスプレイの果たす役割はますます大きくなっています。その電子ディスプレイの原理や用途は、極めて多彩であり、また構成部材も多様性に富んでいます。現在も各種ディスプレイ技術を進展させるため、材料からシステムに至るまで幅広い研究・開発が精力的に続けられています。

今回、電子ディスプレイ分野の一層の発展を期して、小特集 (平成 26 年 11 月号) を企画しました。多数の方々の積極的な御投稿を期待致します。

#### ●論文投稿締切日 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 必着

#### ●問合せ先幹事

新田 博幸  
(株) ジャパンディスプレイ モバイル事業本部 システム設計 Unit IC・タッチパネル設計部  
〒297-8622 千葉県茂原市早野 3300 番地  
Tel: 0475-25-9017, Fax: 0475-24-2463  
E-mail: hiroyuki.nitta.tv@j-display.com  
(学会事務局への関係書類の送付は不要です)

#### ●詳細は学会誌 12 月号をご覧ください。

## －電磁界理論の進展とその応用小特集（英文論文誌C）論文募集－

電磁界理論の進展とその応用小特集編集委員会

近年、メタマテリアル、大規模構造の散乱問題、更には光通信システムにおける伝搬解析など、電磁界理論を中心とした応用技術がますます盛んになってきています。電磁界理論研究専門委員会では、電磁界理論の進展とその応用に関する最近の新しい研究成果を総括することを目的として、平成25年11月14日(木)～16日(土)に青森県三沢市で開催された「電磁界理論シンポジウム」の研究会での発表を中心に、「電磁界理論の進展とその応用」小特集 “Special Section on Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application” (平成27年1月号)の発行を企画しました。また、本小特集では、これらの関連の国際会議(2013 AP-S and URSI, PIERS 2013, ISAP2013, EMTS 2013, APSAR 2013)等での発表成果を発展させた論文も受け付けます。

●論文投稿締切日 平成26年4月4日(金) 必着

●問合せ先幹事

平山 浩一  
北見工業大学 電気電子工学科  
〒090-8507 北海道北見市公園町165  
Tel: 0157-26-9285, Fax: 0157-26-9260  
E-mail: hirakc@mail.kitami-it.ac.jp

●詳細は学会誌12月号をご覧ください。

## －大学発マイクロ波論文特集（和文論文誌C）論文募集－

マイクロ波論文大学発特集編集委員会

近年のスマートフォンなどに代表されるワイヤレス情報通信機器の世界的な普及を背景に、マイクロ波・ミリ波帯・THz帯におけるデバイス、回路、システム等の技術は急速に進歩し続けています。更には無線電力伝送等の新しいマイクロ波応用分野が拡大しつつあり、将来に向けてより高度な技術が求められています。こうした要求に対して、大学等の教育研究機関による基礎的研究、産業界との共同研究の推進は、技術的貢献のみならず若手技術者の育成などの面でも、この分野の発展に大きく寄与することは言うまでもありません。そこで、和文論文誌C分冊では、大学をはじめとする教育機関が主体となって行われた研究・開発成果をまとめる「大学発マイクロ波論文特集」(平成26年12月)の発行を企画致しました。本特集は、教育機関でのマイクロ波・ミリ波・THz技術の基礎研究から応用研究にわたる優れた研究成果を発掘し、それらの成果を、産業界をはじめとする幅広い分野の方々に紹介することを目的としています。対象分野は、回路、アンテナ、電波応用システム、シミュレーション技術、測定評価技術などマイクロ波・ミリ波・THz技術全般としておりますので、教育機関の皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

●論文投稿締切日：平成26年3月28日(金) 必着

●問合せ先幹事

田原 志浩  
三菱電機株式会社 情報技術総合研究所 アンテナ開発部  
〒247-8501 神奈川県鎌倉市大船 5-1-1  
Tel: 0467-41-2532, Fax: 0467-41-2419  
E-mail: Tahara.Yukihiko@aj.MitsubishiElectric.co.jp

●詳細は学会誌1月号をご覧ください。

## ◆電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ会員サービスのご紹介

電子情報通信学会及びエレクトロニクスソサイエティでは会員の皆様に各種サービスを提供しております。会員の皆様にさらに活用して頂くために会員サービスを紹介します。

### エレクトロニクスソサイエティ会員のサービス

#### ●過去の技術研究報告の閲覧（アーカイブシステム）

エレクトロニクス研究専門委員会が開催している研究会の予稿である技術研究報告の過去分を web から閲覧することができます。キーワードで検索が可能です。現在は 1954 年度から 2009 年度までの技術研究報告が閲覧可能です。

#### ●コンテンツ配信

大会プレナリーセッション、材料デバイスサマーミーティング、支部講演会において著名な先生方、研究者の方の講演をインターネットで配信しています。最新の研究動向を web を通して知ることができます。

最近の収録例

「光・電波シミュレーション技術の最近の動向と今後の展望について」	北見工業大学	柏 達也 教授
「集積エレクトロニクスの新たな展開」	東京大学 生産技術研究所	桜井 貴康 教授
「テラヘルツ波技術に関する政策面の課題」	情報通信研究機構 未来 ICT 研究所	寶迫 巖 様
「新たなフェーズに入りつつあるテラヘルツ技術とその展望」	大阪大学大学院基礎工学研究科	永妻 忠夫 教授
「ナノフォトデバイスにむけたシリコンフォトニクス技術」	横浜国立大学工学研究院	馬場 俊彦 教授
「シリコンフォトニクスの産業化にむけて：海外および日本の施策」	東京大学大学院工学系研究科	和田 一実 教授
「半導体レーザ 50 周年に際して」	東京工業大学	末松 安晴 名誉教授
「電子ペーパーのゆくえ」	九州大学大学院	服部 励治 教授
「映像ディスプレイのゆくえ—脳内で知覚する映像—」	(株)東芝	奥村 治彦 様
「More-Than-Moore 技術と 3 次元集積化」	東北大学	小柳 光正 教授
「ギガビットミリ波通信を実現するアナログ・RF-CMOS 集積回路技術」	東京工業大学	松澤 昭 教授
「高精細映像時代に向けた超低消費電力光パズネットワーク技術」	産業技術総合研究所	石川 浩 様

※技術研究報告の閲覧とコンテンツ配信はエレクトロニクスソサイエティホームページ(<http://www.ieice.org/es/jpn/>)からログインできます。

### 電子情報通信学会ソサイエティ共通の会員サービス

- 会員価格で大会での発表
- 論文の投稿（和文誌、英文誌、ELEX）
- 書籍の割引購入（原則定価の 2 割引）
- 会員専用メール無料転送サービス（ウイルスチェック後転送、2 箇所まで転送可能）
- 他学会（※）との入会金相互免除（正員）  
(※：電気学会・照明学会・映像情報メディア学会・情報処理学会・IEEE・大韓電子工学会)

※詳しくは <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html> を御覧ください。

### ◆エレクトロニクスソサイエティ会員数の推移

エレクトロニクスソサイエティの現状を会員の皆様にご理解頂くため、エレクトロニクスソサイエティ登録会員数の推移を掲載しております。皆様の会員増強活動へのご協力をお願い致します。

		名誉員	正員	(国内)	(海外*)	学生員	(国内)	(海外*)	合計
2009年	4月	44	6,421	(6,155)	(266)	563	(502)	(61)	7,028
	7月	42	6,438	(6,156)	(282)	645	(574)	(71)	7,125
	10月	42	6,471	(6,171)	(300)	805	(717)	(88)	7,318
2010年	1月	40	6,410	(6,104)	(306)	860	(757)	(103)	7,310
	4月	40	6,591	(6,243)	(348)	543	(462)	(81)	7,174
	7月	42	6,619	(6,240)	(379)	723	(620)	(103)	7,384
	10月	42	6,629	(6,238)	(391)	857	(740)	(117)	7,528
2011年	1月	42	6,588	(6,174)	(414)	951	(801)	(150)	7,581
	2月	42	6,576	(6,155)	(421)	1,021	(863)	(158)	7,639
	3月	42	6,055	(5,683)	(372)	967	(803)	(164)	7,064
	4月	42	6,371	(5,946)	(425)	657	(531)	(126)	7,070
	5月	42	6,367	(5,934)	(433)	683	(549)	(134)	7,092
	6月	45	6,380	(5,935)	(445)	708	(571)	(137)	7,133
	7月	45	6,377	(5,927)	(450)	745	(605)	(140)	7,167
	8月	45	6,334	(5,875)	(459)	827	(683)	(144)	7,206
	9月	44	6,287	(5,822)	(465)	858	(707)	(151)	7,189
	10月	42	6,261	(5,796)	(465)	867	(713)	(154)	7,170
	11月	43	6,340	(5,874)	(466)	884	(726)	(158)	7,267
	12月	43	6,337	(5,865)	(472)	895	(732)	(163)	7,275
2012年	1月	43	6,332	(5,857)	(475)	923	(755)	(168)	7,298
	2月	43	6,329	(5,844)	(485)	974	(802)	(172)	7,346
	3月	43	5,862	(5,436)	(426)	893	(720)	(173)	6,798
	4月	43	6,221	(5,700)	(521)	514	(432)	(82)	6,778
	5月	43	6,215	(5,687)	(528)	546	(461)	(85)	6,804
	6月	44	6,217	(5,685)	(532)	574	(484)	(90)	6,835
	7月	43	6,226	(5,689)	(537)	614	(521)	(93)	6,883
	8月	43	6,235	(5,691)	(544)	696	(521)	(102)	6,974
	9月	42	6,235	(5,687)	(548)	730	(617)	(113)	7,007
	10月	42	6,232	(5,678)	(554)	746	(627)	(119)	7,020
	11月	42	6,243	(5,683)	(560)	761	(635)	(126)	7,046
	12月	42	6,218	(5,656)	(562)	768	(633)	(135)	7,028
2013年	1月	42	6,191	(5,620)	(571)	783	(642)	(141)	7,016
	2月	42	6,191	(5,618)	(573)	839	(667)	(172)	7,072
	3月	42	5,707	(5,238)	(469)	788	(642)	(146)	6,537
	4月	42	6,004	(5,482)	(522)	473	(369)	(104)	6,519
	5月	44	5,989	(5,456)	(533)	501	(388)	(113)	6,534
	6月	44	6,005	(5,456)	(549)	521	(399)	(122)	6,570
	7月	44	6,013	(5,459)	(554)	580	(447)	(133)	6,637
	8月	44	6,015	(5,450)	(565)	654	(513)	(141)	6,713
	9月	44	6,021	(5,448)	(573)	681	(537)	(144)	6,746
	10月	41	6,026	(5,443)	(583)	700	(545)	(155)	6,767

\* 海外:「外国籍を有しかつ海外に在住する」会員

◆エレソ Newsletter 研究室紹介記事募集

研究室紹介記事を募集します。

今年度も昨年度と同様に、【短信】研究室紹介のコーナーに一般公募記事の掲載も予定しております。研究紹介の機会として奮って応募下さい。

\*応募方法： タイトル、研究室名、連絡先（e-mail）を下記応募先までご連絡下さい。

応募多数の場合は選考の上、編集担当より、フォーマット書類一式をお送り致します。

\*応募先： エレソ事務局 ([h-sakai@ieice.org](mailto:h-sakai@ieice.org)) TEL:03-3433-6691

これまでの記事例は、下記 URL エレソニュースレターのページにありますので、ご参考願います。

<http://www.ieice.org/es/jpn/newsletters/>

◆ Newsletter 魅力的な紙面づくりにご協力下さい

本Newsletter は、会長、副会長からの巻頭言や論文誌編集委員長、研究専門委員会委員長からの寄稿を中心に、年 4 回発行させていただいております。2011年7月号より、Newsletterをリニューアルいたしました。今後、さらに魅力的な紙面づくりを進めるため、エレクトロニクスソサイエティでは、会員の皆様から企画のご提案やご意見を募集いたします。電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ事務局宛（詳細は下記URL）にご連絡をお願いいたします。 <http://www.ieice.org/es/jpn/secretariat/>

◆ エレソ News Letter は年 4 回発行します。次号は 2014 年 4 月発行予定です。

編集担当：松崎（企画広報幹事）、西川（編集出版幹事）、植之原（技術渉外幹事）

---

【編集後記】

Newsletter への記事をご執筆いただきました関係者の皆様に、いつもと同様ですがこの場をお借りして感謝申し上げます。Newsletter の役割を考えていますが、アクティブな活動の様子を関係者特に若手研究者に伝えることで、数年後の学会を支える世代の人数を増やしていくことだと思っています。そのためには皆様のご協力が不可欠です。Newsletter 自身も、その役目に沿った形態を模索していきたいと思っております。今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

（植之原）

平成 25 年度エレクトロニクスソサイエティ運営委員 (2013 年 12 月現在)

ソサイエティ会長 (理事)	榎木 孝知 (NTT エレクトロニクス)
次期ソサイエティ会長 (理事)	中野 義昭 (東京大学)
総務幹事	武藤 伸一郎 (NTT)
総務幹事	萬 伸一 (NEC)

**企画会議**

ソサイエティ副会長 (企画広報財務担当)	米田 尚史 (三菱電機)
財務幹事	西山 伸彦 (東京工業大学)
財務幹事	津田 邦男 (東芝)
企画広報幹事	松崎 秀昭 (NTT)
企画広報幹事	佐川 みすず (日立)
アドホック幹事 (ハンドブック)	小山 二三夫 (東京工業大学)
アドホック幹事 (Web ページ企画委員)	高橋 浩 (上智大学)
アドホック幹事 (I-Scover プロジェクト)	内山 博幸 (日立)
アドホック幹事 (I-Scover プロジェクト)	塩見 英久 (大阪大学)
アドホック幹事 (I-Scover プロジェクト)	神 好人 (NTT)
アドホック幹事 (I-Scover プロジェクト)	山田 浩 (東芝)

**編集出版会議**

ソサイエティ副会長 (編集出版担当)	廣瀬 明 (東京大学)
庶務・財務幹事	塩見 英久 (大阪大学)
庶務・財務幹事	藤井 孝治 (NTT)
編集出版幹事	西川 健二郎 (鹿児島大学)
編集出版幹事	加屋野 博幸 (東芝)
編集出版連絡委員	前澤 正明 (産業技術総合研究所)
和文論文誌編集委員長	津田 裕之 (慶應義塾大学)
和文論文誌編集幹事	加藤 和利 (九州大学)
英文論文誌編集委員長	石井 啓之 (NTT)
英文論文誌編集幹事	茂庭 昌弘 (東北大学)
ELEX 編集委員長	井筒 雅之 (東京工業大学)
ELEX 編集幹事	宮本 智之 (東京工業大学)

**研究技術会議**

ソサイエティ副会長 (研究技術担当)	矢加部 利幸 (電気通信大学)
庶務・財務幹事	檜枝 護重 (三菱電機)
庶務・財務幹事	神 好人 (NTT)
技術渉外幹事	三田 吉郎 (東京大学)
技術渉外幹事	植之原 裕行 (東京工業大学)
大会運営委員長	山崎 恒樹 (日本大学)
大会運営幹事	長谷川 誠 (千歳科学技術大学)

**研究専門委員会 (第一種)**

機構デバイス	長谷川 誠 (千歳科学技術大学)
磁気記録・情報ストレージ	杉田 龍二 (茨城大学)
超伝導エレクトロニクス	円福 敬二 (九州大学)
電子ディスプレイ	木村 睦 (龍谷大学)
電子デバイス	原 直紀 (富士通研究所)
電子部品・材料	高野 泰 (静岡大学)
電磁界理論	白井 宏 (中央大学)
シリコン材料・デバイス	奈良 安雄 (呉工業高等専門学校)
マイクロ波	黒木 太司 (富士通研究所)
集積回路	山村 毅 (新潟大学)
有機エレクトロニクス	加藤 景三 (東北大学)
光エレクトロニクス	山田 博仁 (NTT)
レーザ・量子エレクトロニクス	松尾 慎治 (NTT)
エレクトロニクスシミュレーション	柴田 随道 (NTT)
マイクロ波・ミリ波フォトニクス	岩月 勝美 (東北大学)

**時限研究専門委員会**

集積光デバイスと応用技術	粕川 秋彦 (古河電気工業)
超高速光エレクトロニクス	三沢 和彦 (東京農工大学)
量子情報技術時限	枝松 圭一 (東北大学)
テラヘルツ応用システム	久々津 直哉 (ATR)
次世代ナノ技術に関する	小森 和弘 (産業技術総合研究所)
ポリマー光回路	杉原 興浩 (東北大学)
シリコン・フォトニクス	西山 伸彦 (東京工業大学)

**国際会議国内委員会**

APMC 国内委員会	常信 和清 (富士通研究所)
MWP 国内委員会	塚本 勝俊 (大阪工業大学)
日中合同マイクロ波国際会議国内委員会	古神 義則 (宇都宮大学)
PIERS 国内委員会	山崎 恒樹 (日本大学)
URSI 日本国内委員会	小林 一哉 (中央大学)